

規約条文

- (1)前年度当該大会ランキングシングルス16位まで、ダブルス8位まで。
- (2)前年度全日本学生選抜卓球選手権大会シングルス16位まで
- (3)前年度全日本選手権大会ランキングシングルス16位まで、ダブルス8位まで
- (4)世界ランキング300位以内かつ上から4名まで(本大会シード会議の1週間前のランキングとする)
- (5)昨年度全国高等学校総合体育大会においてシングルスベスト8まで
- (6)当該年度各学連選手権大会(参考資料)

但し、シード会議に出席した構成員の3分の2以上の賛成をもってシード順位を入れ替えることができるものとする。

しかし、その場合でも、前年度当該大会当該種目において保持しているランキンググループ(1位・2位・ベスト4・ベスト8・ベスト16)は確保されなければならない。

又、ダブルスにおいて、ペア変更によって両者の内の一方、又は両方が規定のランキングを保持している場合でも参考資料に留めるものとする。

現状

- (1)前年度当該大会ランキングシングルス16位まで、ダブルス8位まで。

→ 中止

- (2)前年度全日本学生選抜卓球選手権大会シングルス16位まで

→ 中止

- (3)前年度全日本選手権大会ランキングシングルス16位まで、ダブルス8位まで

→ シングルスは実施。ダブルスは中止

- (4)世界ランキング300位以内かつ上から4名まで(本大会シード会議の1週間前のランキングとする)

→ 基本的には問題なし

- (5)昨年度全国高等学校総合体育大会においてシングルスベスト8まで

→ 中止

- (6)当該年度各学連選手権大会(参考資料)

→ 実施と中止が混在。

【今回に限り適用】

- (1)前々年度(2019年)当該大会ランキングシングルス16位まで、ダブルス8位まで。
- (2)前々年度(2019年)全日本学生選抜卓球選手権大会シングルス16位まで
- (3)前年度(2021年1月)全日本選手権大会ランキングシングルス16位まで
- (4)世界ランキング300位以内かつ上から4名まで(本大会シード会議の1週間前のランキングとする)
- (5)前年度(2020年11月)選抜強化大会シングルスベスト16まで
- (6)前々年度(2020年1月)前年度全日本選手権大会ランキングシングルス16位まで、ダブルス8位まで
- (7)前々年度(2019年)全国高等学校総合体育大会においてシングルスベスト8まで
- (8)当該年度各学連選手権大会(参考資料)

但し、シード会議に出席した構成員の3分の2以上の賛成をもってシード順位を入れ替えることができるものとする。

しかし、その場合でも、前々年度(2019年)当該大会当該種目において保持しているランキンググループ(1位・2位・ベスト4・ベスト8・ベスト16)は確保されなければならない。

又、ダブルスにおいて、ペア変更によって両者の内の一方、又は両方が規定のランキングを保持している場合でも参考資料に留めるものとする。

※ポイント

- ・中止となった箇所に関しては、その前年度(=前々年度)の記録を採用する。
- ・中止とならずに実施されたものに関しては、そのまま採用する
- ・選抜強化大会は、正規大会ではないがある程度の参考になるため、5番目の規定として採用する
- ・全日本選手権は、(3)前年度(2021年1月)の単と、(6)前々年度(2020年1月)の単複を採用する。
- ・3分の2条項でのシード順位を入れ替えを活用する。